



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 12月号

平成29年12月1日

校長 藤井 恒雄

『自分を変える』～心は形に～

12月（師走）に入りました。学校周りの桜の木々の紅葉もすっかり落ちてしまいましたが、たまの小春日和の日には太陽の光に優しくつつまれ、心も温かくなる思いがします。寒さも厳しさを増してきます。体調管理には十分気をつけていただきたいと思います。



11月11日（土）は学校公開、学習発表会を行いました。多くの保護者の皆様に参加をいただき、ありがとうございました。学習発表会では、学年ごとに今まで学んできたことを披露しました。どの学年・クラスも当日まで授業や様々な機会を利用して練習を重ね、当日はしっかりとした態度で今まで学習してきた成果を発表してくれました。また、いしかわっ子駅伝交流大会、保育園児との交流会、町探検やお話会等の多くの行事が続きました。学校では教室での学習だけでなく、様々な体験を通して一人一人の力を育み、自信をつけていく場を設け生きる力を育てていきたいと考えています。



さて今日の集会では、12月4日～10日の「人権週間」にちなんで次のことを話しました。学校では、友だちと仲良くするにはどうすればよいか、楽しい学校にするにはどうすればよいか話し合ったり、キラリさんで友だちの良い所を紹介したりしていますが、気になることがあります。相手をけなす言葉、攻撃する言葉です。こういう言葉が身の回りに溢れていると、穏やかな気持ちではられません。ぜひこれをなくしていきたいと思います。まず自分が使わないと決心すれば今すぐできます。クラスでなくするためには、自分がその言葉をかけられても、やり返さない。嫌な気持ちになったら、「私は嫌な気持ちです。」ときちんと伝えることです。きちんとていねいに、ということが大切です。腹が立っても、やり返しては変わりません。きちんとした言い方で相手にわかってもらえるまで繰り返すことが必要です。先生に相談することも必要です。子どもたちは、花の種です。きれいな花を咲かせることのできる種です。この種は毎日毎日少しずつ大きくなります。しっかり栄養をあげないときれいな花は咲きません。この種の栄養は「ぼかぼか言葉」です。「チクチク言葉」では、花はしぼんでしまいます。まず自分が変わり、みんなが同じように始めればクラスは今日からでも変わります。学校だけではありません。家に帰ってからもこの言葉はなくしましょう。そして、それぞれひとりひとりのきれいな花を咲かせましょう。



体の成長は身長や体重を計ったりすることでわかります。心はどうでしょう。心の成長は人には見えなかったり、自分自身でも気づかなかったりするものです。「苦しいことに負けない強い心をもつこと」「友達を大切にできる優しい心・おもいやりの気持ちをもつこと」「自分のよさや友達のよさを見付け、認め合う心をもつこと」はとても大切なことです。そして「心を成長させる」ことにつながるのではないのでしょうか。朝や校舎内で挨拶をする子が多くなってきました。係りや当番の仕事を一生懸命やっている子も多くなってきました。そして何より、4月に比べて勉強を始めとして多くのことができるようになってきたことが学校の中を歩いているだけでわかります。きっといろいろな場面で「がんばろう」とか「友達を大切にしよう」という気持ちを持ち続け、自分を変える努力をしてきたからだと思います。今月は1年を振り返るチャンスです。子どもたち自身がしてきた努力を見つめ、また新たな目標を立て一步一步成長を重ねていくこと期待しています。今後ともご支援をお願いいたします。